

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.18

| | |
|-------------------------------|--|
| 調査者 | 松木 良介、井澤 和太、加藤 倫卓 |
| 情報ソースの刊行日 | 2020年4月3日 |
| 情報ソースの調査日 | 2020年4月21日 |
| 日本理学療法士学会 HP に公開された日 | 2020年4月29日 |
| 日本語タイトル | 心臓血管疾患と COVID-19: オーストラリア/ニュージーランドの合意声明 |
| 情報ソース | Zaman S, et al. Cardiovascular disease and COVID-19: Australian/New Zealand consensus statement. THE Medical Journal of Australia. Published online: 3 April 2020 |
| 情報のカテゴリー | 心疾患全般、急性期の心リハ、回復期の心リハ、生活期の心リハ(介護・福祉系を含む)、包括的心リハ |
| 発信地域 | オセアニア(オーストラリア、ニュージーランド) |
| DOI | なし |
| URL | https://www.mja.com.au/journal/2020/cardiovascular-disease-and-covid-19-australiannew-zealand-consensus-statement |
| 要約 | <ul style="list-style-type: none"> COVID-19の一般的な急性心臓症状は、左心室機能不全、心不全、不整脈、急性冠症候群である。 安定している患者は、パンデミック鎮静化まで冠動脈インターベンションは延期され、内科的に管理される。 心臓手術は、入院による院内感染リスク、人工呼吸器の使用、入院長期化の影響と緊急性が考慮される。 非緊急性の心臓手術は、中止の方針である(オーストラリア政府)。 選択的心臓検査が優先される(特に、経食道超音波検査は、エアロゾル発生のリスクが高く、適切な個人防護具を要する)。 患者の自己管理を含む心臓リハビリ(CR)プログラムは、遠隔医療やデジタルヘルスプラットフォーム(体重、体温、歩数、脈拍など、健康状態を示す連続的データより構成)などを利用し適応される。 |
| 最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？ | <ul style="list-style-type: none"> 心臓血管疾患に対する医療提供に関する重要項目および実践的なアプローチについて、具体的に提案されている。 患者が自宅隔離中でもCRを継続できるよう、オンラインサポートや重要なオンラインリソース(10のWebサイト)が紹介されている(PDF: https://www.mja.com.au/system/files/2020-04/Preprint%20Zaman%20updated%203%20April%202020.pdf)。 |